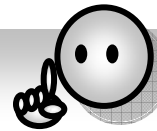


発想法を知ろう



内容説明

行き詰った状態になっているとき、「自分たちがしなければならないことは何なのか、何がしたいのか」などを整理すると、新たな道が開かれることがしばしばあります。これまでに知っていることを整理することによって新しい解決を発見することを「発想法」といいます。特にチームで発想法を利用すると、問題解決に役立つだけでなくチームワークを強めるのにも効果があります。代表的な2つの発想法を紹介しますので、チームで「理想の学校」を構想するとき、また個人でレポートや論文を書くときなどに利用してみてください。

ブレインストーミング

数人が集まって、「するにはどうしたらよいのか」といったような、焦点化されたテーマについて思いつくままのアイデアを出し合い、それらの中から有効な解決策を見出す、「**質より量(量から質を生み出す)**」をモットーとした発想法。ルールとして、

**出されたアイデアに対して一切批判をしてはならない、
既成概念にとらわれない自由奔放なアイデアを多く集める
連想的なアイデアを歓迎する**

などがあげられる。1938年、当時アメリカの広告代理店 BBDO 社の副社長であったアレックス・F・オズボーン氏が考案した。

ブレインストーミングについての詳しい情報

<http://naruzo.cside1.com/kouza/kouza.php?id=c0205> 「なるぞ 情報処理技術者」
(2004年10月アクセス)

KJ法

東京工業大学名誉教授、川喜田二郎氏(イニシャル K.J)が生み出した発想法。カード型の紙片に思いつく限りの単語を記入して、関係のある言葉をまとめたり並べ替えたりしながら、それらの言葉のまとまりが意味するものを見出す。

KJ法についての詳しい情報

<http://nokai.ab-garden.ehdo.go.jp/giho/43.html>
「生涯職業能力開発促進センター」 (2004年10月アクセス)

この授業では、ブレインストーミングとKJ法とを応用してチーム作業を進めます。

進め方

以下のようにメンバーを構成する

- ・ 司会 1名
- ・ ブレイン・ストーマー(アイデアを出す人) その他のメンバー

模造紙を床に広げるか壁などに貼り、思いついたアイデアを付箋紙(貼ってはがせるメモ)に書いて模造紙に貼っていきます。発想が終わったら、司会が中心となってチーム全員で相談しながらアイデアを分類整理します。

問題の把握

↓
できるだけ焦点化したテーマを決める。ここでは「理想の学校を創るには何が
必要か」

発想(ブレインストーミング)

↓
テーマについて思いつくままの情報を付箋紙に記入する。

アイデアの分類・結合・改善

↓
付箋紙を意味のまとまりごとにグループ分けする(クリップなどでまとめる)。それらのグループに名前を付ける(これを「ラベリング」という)。

アイデア・グループの関連付け

↓
「目的と手段」「原因と結果」などのような関係ごとに付箋紙のグループを配置する。配置が決まれば、付箋紙のまとまりを解いて並べる。

それを図解し、文章化してみる。

図解 : 矢印や や などの図形を記入しながらカードを関連付ける。

文章化 : 図解をもとにして文章で表現していく。

↓
発表できるように模造紙を裏返してマジックなどでわかりやすく仕上げる

その他の発想法

ブレインストーミングや KJ 法以外にもたくさんの発想法があります。ここでは詳しく解説しませんが、さまざまな発想法を紹介しているサイトをいくつかあげておきます。

(以下全て 2004 年 10 月アクセス)

- ・ ゴードン法、全脳思考、アルファベットシステム など
<http://www.1st-navi.com/hasouhou.shtm> 「発想法」
- ・ オズボーンのチェックリスト、モーフォロジカル分析(形態素分析)
<http://www.mpara.com/hasso.htm> 「マーケティング発想法」
- ・ マトリックス法、希望点列挙法
<http://bizdo.jp/factory/manners/k3/TK3-01.htm> 「初級者アイデア発想法」